

令和6年度 道徳教育地域支援委託事業

研究主題

主体的に考え、共に高め合う児童の育成
～ききことから思考を深める授業づくり～

研究の具体

視点1 きき合い、道徳的諸価値について理解を深めるための指導の工夫

(1) きき合うためのスキルを高める指導の工夫

ア きき合うためのスキルアップのために

- ① 受容的にきく
- ② 肯定的にきく
- ③ 考えをつなぎながらきく

イ きき合うスキルトレーニング：朝のきき合いタイム

(2) 道徳的諸価値の理解を深めるための「きき合う活動」のあり方

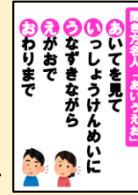
ア きき合う活動

イ 授業の流れ

ウ きき合う活動の実際→役割演技、ペアやグループきき合う時間、

全体できき合う時間、タブレット端末を活用した「共有の時間」

エ 総合的な学習の時間や他教科、「新ふるさと心」を活用した道徳教育の充実



【聞き方名人あいうえお】



【あいづちあいうえお】



視点2 自己を見つめたり、多面的・多角的に考えたりするための支援の工夫

(1) 自己を見つめ、生活につなぐための支援の工夫

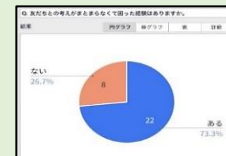
- アンケートにより、普段の生活での自分と本時の授業を結びつける工夫
- 実際にあった出来事や場面提示
- 価値項目をテーマとした授業の導入時の思考の時間

(2) 多面的・多角的に考え、思考を深めるための支援の方法

- 思考ツールの活用
- 登場人物の表情を想像してかき、モニタリングによる表出
- 気持ちメーター（熊本市教育センター）の活用
- モニタリングによる気持ちの変容の視覚化
- 思考ツール上にクラス全員の名前磁石をおいた視覚化



【ウェビングマップ】



【アンケート結果の提示】



【気持ちメーター】

視点3 自己の生き方について考えを深める時間の設定

(1) 自己の生き方につなげるための振り返りの時間のあり方

- 授業の終末に授業できき合ったことや自分の普段の生活を振り返る時間の充実
- 日常化を図るための支援の工夫

(2) 自己の生き方につなげるための指導計画の工夫

ア 「あこがれられる存在」になることをめざし「自分から積極的に行動する」経験

- 児童会の積極的な取組
- 委員会や係の活動の主体的、積極的な取組

イ 他学年とかかわる場を積み重ね、「自立心」や「自信」をもたせる体験

- 異学年交流
- ボランティア活動
- 他学年との交流やメッセージのやり取りから絆を深めたり、自信を高めたりする活動



【学びの足跡の掲示】

研究の検証及び改善の手立て

令和6年度の全国学力・学習状況調査における質問紙調査の社会性・道徳性にかかわる項目において、肯定的回答が全国平均、県平均ともに超えた。しかし、道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか、県平均と全国平均と同じ数値となった。今後、きき合い活動に重点を置き、児童の主体的な学びを実践することにより、さらに多面的・多角的に考えを巡らせ議論することで、共に考え、悩み、夢や感動を共有し合える授業を模索し、本校の教育目標の実現をしたい。